

## プレゼンテーション技術演習（二）（2単位）

担当者氏名 菊地 哲夫、松村 寛一郎

### ◆学習・教育目標（到達目標を記載）

より高度のプレゼンテーション能力を身につけ、研究会や学会において発表も出来るようなレベルの技術修得をめざす。具体的には、図表や写真を用いること、出来る限り文章ではなく模式図等を用いること等の作成技術に留意して、Microsoft PowerPointなどのプレゼンテーションソフトを用いて原図を作成し、プレゼンテーション技術を習得する。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

パワーポイント                      情報収集                                      情報分析                                      プレゼンテーション能力  
 学術プレゼンテーション

### ◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	プレゼンテーション演習（第1～7週） （担当 菊地哲夫）	プレゼンテーション演習ガイダンス  各種資料およびデータの紹介とプレゼンテーションでの利用について学習します。また、学術プレゼンテーションの発表におけるセッションの構成、手順を学びます。	◎事前に配布した資料を熟読すること。 ◎MacWorldでの報告映像アクションカメラについて調べておくこと。
3	身振り手振りの練習（第8週） （担当 松村寛一郎）	スティーブジョブズのプレゼンをみて発表の研究をします。	新聞の社説に目を通しておくこと。
4	映像の利用(第9～13週) （担当 松村寛一郎）	撮影機材を紹介し、映像素材をYouTubeの編集機能を使って編集する方法を学習します。編集した素材をSNSにより配信する方法、様々なライブ配信サイトを紹介します。	◎YouTube、Facebookのアカウントを取得しておくこと ◎“ライブ配信サイトまとめ《リンク集》”を調べておくこと。
5	パワーポイント以外のプレゼンソフトの紹介（第14～15週） （担当 松村寛一郎）	立体的にプレゼンを行うことができるソフトを紹介し、配信方法を学習します。	◎“プレゼンソフト”を調べておくこと。

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

### ◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

講義への参加状況とレポートの内容により評価する

### ◆オフィスアワー

火曜日4限目(後期)

### ◆その他受講上の注意事項

受講生の進捗の状況に応じて演習内容を変更する場合があります